



12 萬歳楽置物

高村光雲・山崎朝雲 1点 大正5年(1916)
ブロンズ、鑄造、(台)木製漆塗、蒔絵、螺鈿
(像)48.0×50.0×63.0、(台)57.0×74.0×15.0

鑄銘によれば、彫刻家・高村光雲(1852~1934)と山崎朝雲(1867~1954)の合作、鑄造は野上龍起(1865~1932)による。また蒔絵と螺鈿による華麗な台は、由木尾雪雄(1860~1929)の制作である。貴族院より献上された品であるが、当初は竹内久一による木彫彩色の久米舞置物が対として制作されていた。 <展示 第1期-12>

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝^{いわい}美^{のび}——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections